

藤森照信作品にみるジブリアニメーションとの類似性に関する研究

指導教員 加茂紀和子 教授

鈴木健路

1. 研究の背景と目的 建物の外観は、人々に特定のイメージ喚起をもたらす媒体である。既往研究では「日本らしさ」や「地域らしさ」といった研究<sup>1)</sup>が多く見られるが、本研究では建築家・藤森照信による建築作品(以下、藤森作品)が「ジブリ<sup>2)</sup>らしい」と評されることに着目し、藤森作品において「ジブリらしさ」を想起させる外観要素について分析・考察をおこなう。

2. 研究概要 1991年から2024年に竣工した藤森作品のうち、建築専門雑誌<sup>3)</sup>において、外観写真と外観要素についての言及があり、店舗等の室内作品を除く44件を研究対象とした。まず、外観要素を抽出し、その特徴について分析・考察をおこなう。次に、対象作品から「ジブリらしさ」を想起させる要因について、外観要素と印象の関係を問うアンケート<sup>4)</sup>を実施し、分析・考察する。

3. 外観構成要素の分析 対象作品の外観の全体構成(以下、【全体】)と部分要素(以下、【部分】)について分析をおこなう。【全体】では「形式」<sup>5)</sup>「形態」[屋根]を、【部分】では「素材」[建築緑化][装飾]の項目を抽出した。「形式」では『高床式』と『接地式』に分け、『高床式』12件のうち11件が茶室であった。「形態」では、1つのボリュームからなる『単体』と、2つ以上のボリュームからなる『複数』とした。[屋根]では、主に『方形屋根』『片流れ屋根』『切妻屋根』の形式が用いられているが、『その他』も多く、屋根形状は多様である。[建築緑化]では、屋根の頂上に一本の樹を植栽する『点緑化』、大棟などに沿って直線的に植栽する『線緑化』、屋根全面を植栽する『面緑化』の3方式がある。[素材]では、初期作品から一貫して使われている『土』、自家施工が可能な『焼杉』と銅などの『金属』、そして『木材』の4要素とした。[装飾]では、『構造的・機能的装飾』<sup>6)</sup>と『表出的装飾』<sup>7)</sup>の2つに大別し、[手作り雨樋]や[雲形窓]といった『構造的・機能的装飾』が40件とほぼ全作品で見られた。また、[見せ梁]や[貫通柱]といった『表出的装飾』は21件で施されている。以上の項目により、対象作品を8つに分類した。類型Aは「形態」が単体の茶室作品群であり、「形式」により高床式(A-1)・接地式(A-2)に分類した。類型Bは「建築緑化」のある作品で、点緑化(B-1)・線緑化(B-2)・面緑化(B-3)に分類した。類型Cは、「建築緑化」のない作品群で、「素材」により、土(C-1)・焼杉(C-2)・金属(C-3)に分類した(表1)。

4. 「ジブリらしさ」のアンケート1の実施

表1 対象作品における抽出要素の対応表

番号	作品名	全体										部分要素										ジブリ度(予備調査)	類型
		形式		形態		屋根						建築緑化				装飾		茶室					
		高床式	接地式	単体	複数	方形	片流れ	切妻	その他	点	線	面	土	焼杉	金属	木材	構造的・機能的		表出的				
#11	高過庵	○		○																		2.18	A-1
#09	一夜亭	○		○																		1.45	
#38	望月楼	○		○																		1.45	
#21	空飛ぶ泥舟	○		○																		1.27	
#22	ウォーキング・カフェ	○		○																		1.18	
#14	茶室 徹	○		○																		1.09	
#20	入山亭	○		○																		1.00	
#10	船庵	○		○																		△0.18	
#28	望北茶亭	○		○																		△0.18	
#40	一石亭	○		○																		△0.27	
#37	樹の茶室	○		○																		△0.91	
#34	底過庵		○		○																	△0.09	
#25	森文茶庵		○		○																	△1.09	
#27	新勝寺松堂		○		○																	1.09	
#05	一本松ハウス		○		○																	0.64	
#42	小泊Fuji		○		○																	0.45	
#18	ルーフハウス		○		○																	0.18	
#23	はま松ハウス		○		○																	△0.36	
#13	ラムネ温泉館		○		○																	△1.00	
#15	ねむの木こども美術館		○		○																	1.18	
#33	モザイクタイムミュージアム		○		○																	0.64	
#43	おおオフィス		○		○																	0.55	
#12	養老民虫館		○		○																	△0.55	
#44	安土みどり城		○		○																	△0.91	
#29	草屋根		○		○																	1.82	
#07	ツバキ城		○		○																	1.36	
#02	タンポポハウス		○		○																	0.82	
#31	栗白木		○		○																	0.82	
#32	草回廊		○		○																	0.55	
#03	ニラハウス+薪軒		○		○																	0.18	
#01	神長官守矢資料館		○		○																	1.27	
#04	浜松市秋野不矩美術館		○		○																	0.45	
#39	e. (イー・ドット) 本店		○		○																	△1.36	
#41	高部公民館		○		○																	0.09	
#24	スノーケルハウス		○		○																	0.00	
#35	フライングハウス		○		○																	0.00	
#36	十字架教会		○		○																	△0.36	
#17	コールハウス+茶室 源		○		○																	△0.91	
#16	焼杉ハウス+松軒		○		○																	△1.09	
#30	銅屋根		○		○																	1.00	
#19	チョコレートハウス+砂観		○		○																	0.18	
#06	藤木県立農業大学校学生寮		○		○																	△0.82	
#08	不東庵工房		○		○																	△0.82	
#26	トタンの家		○		○																	△1.64	

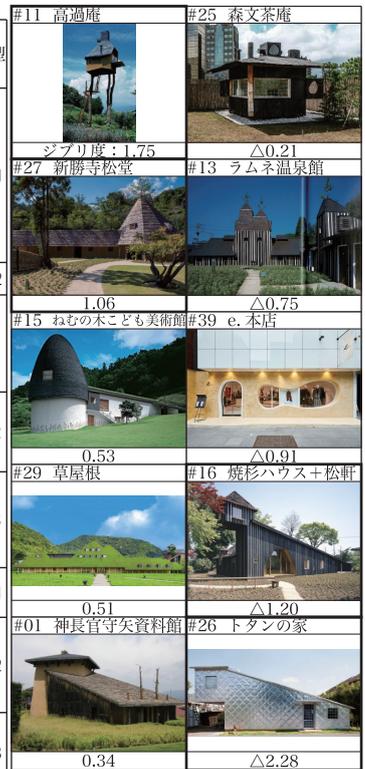


図1 対象10作品とジブリ度の結果

